

令和 8 年 9 月 足立区長定例記者会見

－ 第3回 足立区議会定例会前 －

2026 9 4

1

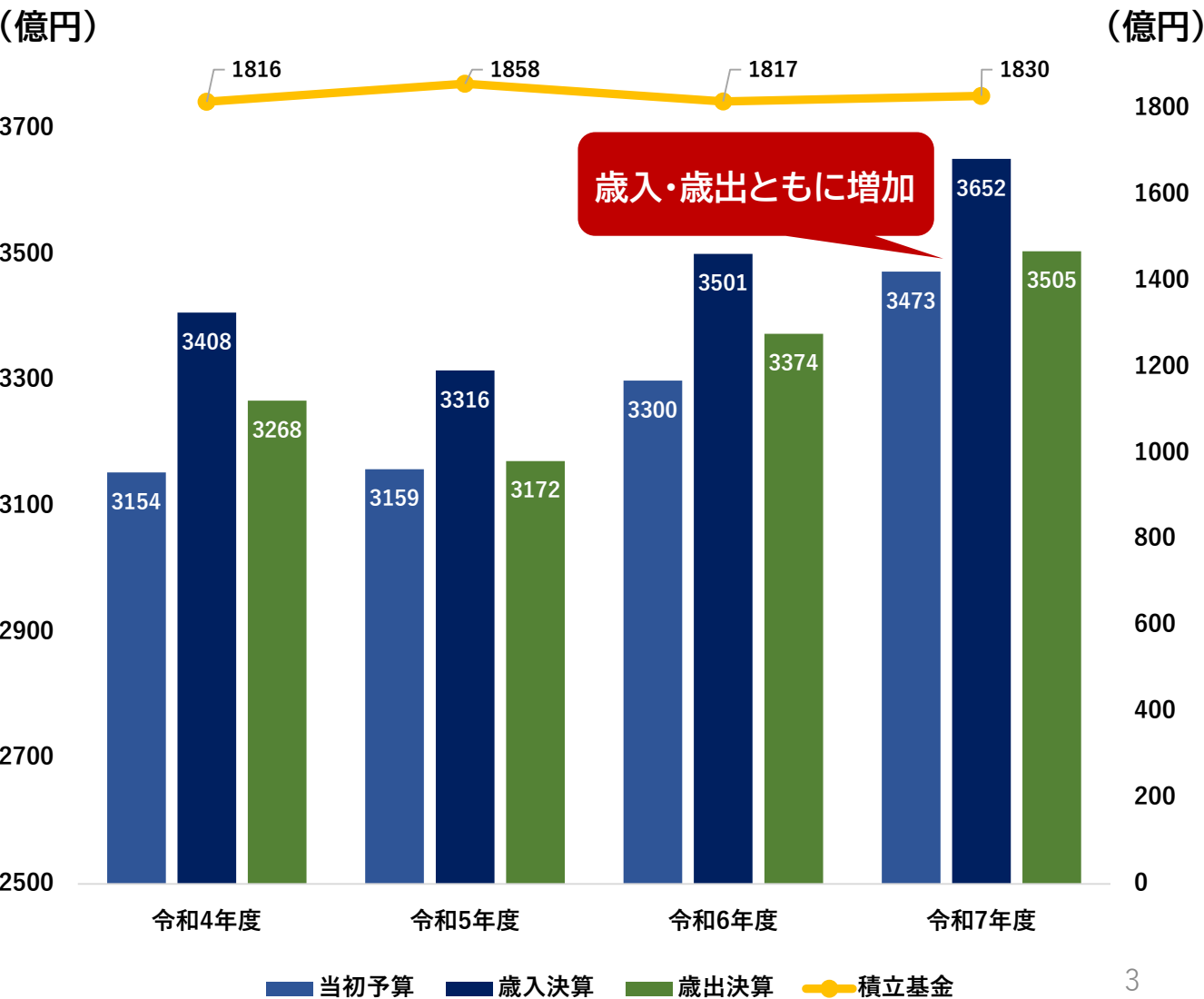
令和7年度 普通会計決算について

選ばれるには“ワケ”がある ～新・足立区基本計画スタート～

令和7年度 普通会計決算の状況

※ 金額等は、表示単位未満の端数調整をしていないため、加減乗除した数値が一致しない場合があります。

普通会計決算額と積立基金現在高の推移



歳入 **3,652**億円 ↑ 前年度比 151億円増

区民税・財政調整交付金は、ともに過去最高額を更新

↑	納税義務者数増 (+11,493人) などによる特別区民税の増	+60億
↑	原資である都税収入の増に伴う財政調整交付金の増	+70億
↑	児童手当の支給対象が高校生世代まで拡大したことなどによる国庫支出金の増	+71億

歳出 **3,505**億円 ↑ 前年度比 132億円増

義務的経費(人件費・扶助費・公債費)・その他経費(補助金・業務委託料 など)が増加

↑	【義務的経費の増】 児童手当の支給対象年齢の拡大 (+30億) など 国制度	+55億
↑	【その他経費の増】 食料品等物価高支援給付金【1人1万円給付】(+49億)など 区独自	+153億
↓	【投資的経費の減】 東綾瀬中学校の改築工事完了など	-76億

経常収支比率 **80.8%** ← 【令和6年度:79.7%】
前年度比1.1ポイント増

財政構造の硬直化を示す経常収支比率が適正水準をわずかに超過

「経常収支比率」は適正水準をわずかに超過

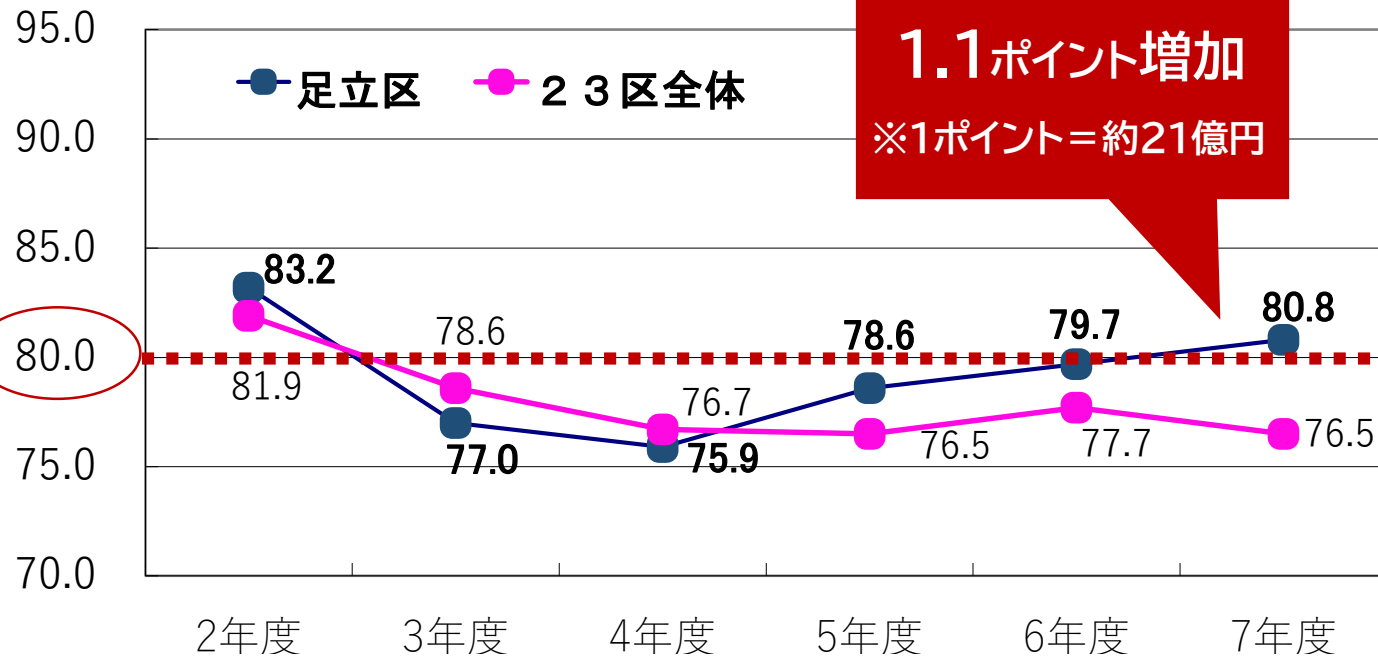
令和7年度は**80.8%**（令和6年度:79.7%）

令和**2**年度以来**5**年ぶりに適正水準※を超過

※適正水準:70~80%

(単位: %)

経常収支比率の推移



1.1ポイント増加

※1ポイント=約21億円

令和7年度は「新・足立区基本計画」の初年度として、「選ばれるまち」の実現に向けた施策を充実

- 小・中学校入学準備金、補助教材費・修学旅行費等の補助(17億円)
 - 新型コロナウイルスワクチン接種・带状疱疹ワクチン定期接種等の無償化など予防接種事業(12億円)
 - 消火器・住宅用火災警報器の購入補助等(2億円)
- などの区独自事業
※ 一般財源ベース

その結果...

財政の弾力性の低下が懸念される状況に

財政の弾力性を確保し、持続可能な財政運営を堅持するため、より一層「既存事業の見直し」「業務の効率化によるコストの最適化」「財源の確保」に取り組んでいく

2

転出入者アンケート調査

より一層「選ばれるまち」の実現に向けて

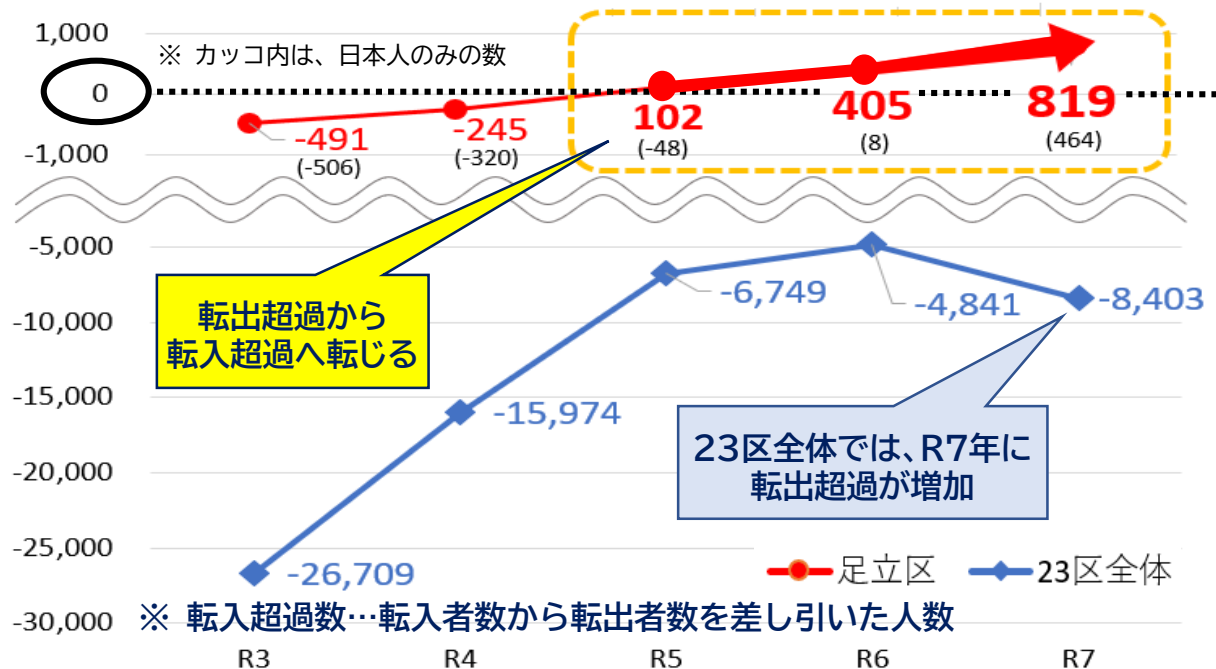
転出入者アンケート調査実施の背景・目的

20代に続き、30代も転入超過へ転じた 調査背景

- ① 人口推計（R6年2月）を上回る人口増加
- ② 保育所等の待機児童数の増加（R8年4月）

20～30代の転入超過数が、人口増加の一因に

30代の転入超過数の推移



「なぜ足立区は選ばれたのか」を調査

考えられる要因

まちづくり	シティプロモーション	子育て支援	暮らしやすさ
■エリアデザインによるハード面の整備 ■区内に6校の大学を誘致	■足立区の魅力を区内外に広く発信し、区のイメージアップを図る取組を実施	■小・中学校の入学準備金等の教育費負担軽減 ■保育料無償化	■都心へのアクセスの良さ ■豊かな自然環境 ■手ごろな住宅価格

より一層「選ばれるまち」の実現へ

調査の目的

- (1) 転入超過の要因分析
- (2) 転出入者の居住選択理由・意向の把握
- (3) これまでの施策効果の検証
- (4) 定住促進及び転出抑制に向けた施策検討の基礎資料

なぜ足立区が「選ばれた」のか？

転出入者アンケート調査概要、今後のスケジュール

調査概要

対象者(日本国籍を有する20～49歳)	内訳
令和7年5月～令和8年4月に足立区に 転入された方	4,000人
令和7年5月～令和8年4月に足立区外へ 転出された方	3,000人

計7,000人

回答方法	インターネットのみ
実施方法	事業者への委託による調査
主な調査項目	■転出入のきっかけ ■転入先として足立区を選んだ理由 ■足立区での暮らしに対する評価(交通、住宅、子育て支援等) ■足立区に住んでみて良かった点や不満に感じた点(自由記載)
その他	アンケート結果を踏まえ、転入者30人程度へのインタビュー調査を実施

足立区に住んでみて感じた印象をお答えください(各項目1つずつ選択)

項目	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い	分からない
1 交通の便利さ	5	4	3	2	1	0
2 住宅条件(広さ、家賃、住宅価格など)	5	4	3	2	1	0
3 駅周辺の開発や街並みの整備	5	4	3	2	1	0
4 保育園や学童保育、学校教育など子どもに関する支援	5	4	3	2	1	0
5 治安に対する安心感	5	4	3	2	1	0
6 日常の買い物などの便利さ	5	4	3	2	1	0
7 緑・公園・水辺などの自然環境	5	4	3	2	1	0
8 図書館・スポーツ施設などの充実度	5	4	3	2	1	0
9 大学の存在、学生・若い世代の活気	5	4	3	2	1	0
10 足立区に対する総合的な印象	5	4	3	2	1	0

今後のスケジュール	
令和8年9月18日 ～10月18日	アンケート実施
10月末	アンケート結果の速報値・簡易分析
12月	インタビュー調査実施
令和9年2月	アンケート結果報告書の完成

優先すべき支援策を見極め、具体的な施策へ反映していく

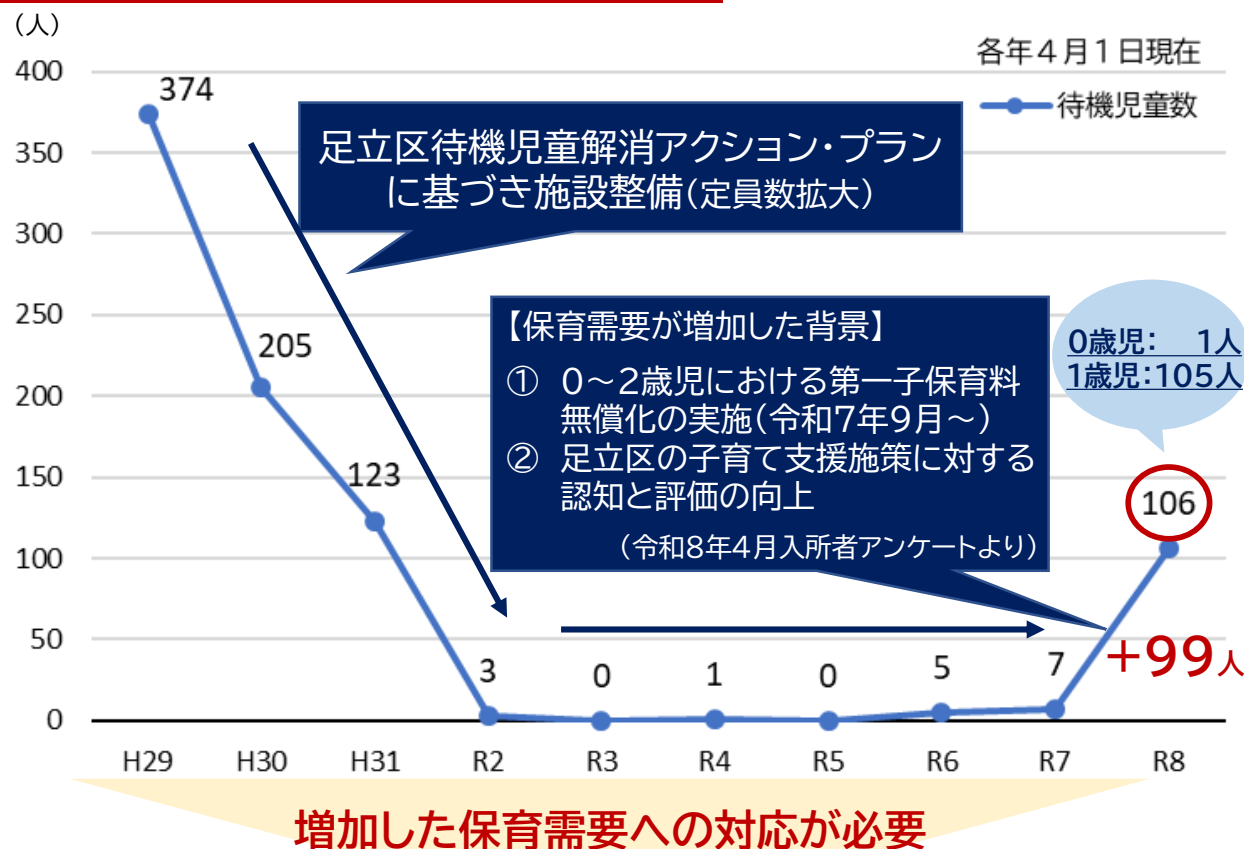
3

保育所等利用待機児童解消に向けた支援策

足立区0・1・2歳児保育定員確保プラン

保育所等利用待機児童数全国ワースト2位を打開するために

保育所等利用待機児童数の推移



方針

「足立区0・1・2歳児保育定員確保プラン」を9月に策定し、待機児童解消を目指す

令和9年度の主な打開策

①区立保育施設の受入人数拡大(約100人)

- 入所定員の抑制解除(13園)
令和3年度から、区立保育施設の定員調整のために行っていた入所制限を解除
- 定員の弾力化(11園)
保育室の広さが基準以上の園に保育士を追加で配置し、定員以上の受け入れを実施

②特別一時保育の開設(約100人)

- 区立保育施設(4園)・幼稚園(6園)の多目的室などを活用
入所待ちの児童を、年度末まで期間限定で保育

その他の取り組み

①・②に加え、令和10年度以降は次の対策を継続的に実施

- 幼稚園の認定こども園化の促進(令和10年度は2園)
- 小規模保育の新設(令和10年度は3園) など

令和12年度までに保育所等利用待機児童数ゼロへ

4

第4号補正予算案

不登校児童の未然防止

(仮称) 小学校版SSR[※](スモール・ステップ・ルーム) の設置

- ※ ① SSR・・・学級に入りづらいと感じた生徒が、ソファや観葉植物等があり、心を落ち着かせることのできる空間で、自分に合ったペースで学習・生活できる教室
- ※ ② 足立区では、令和5年度から区立中学校でモデル実施を開始
令和8年度時点で区立中学校25校に設置済
令和9年度で全区立中学校(35校)に設置予定

足立区の不登校児童・生徒の現状

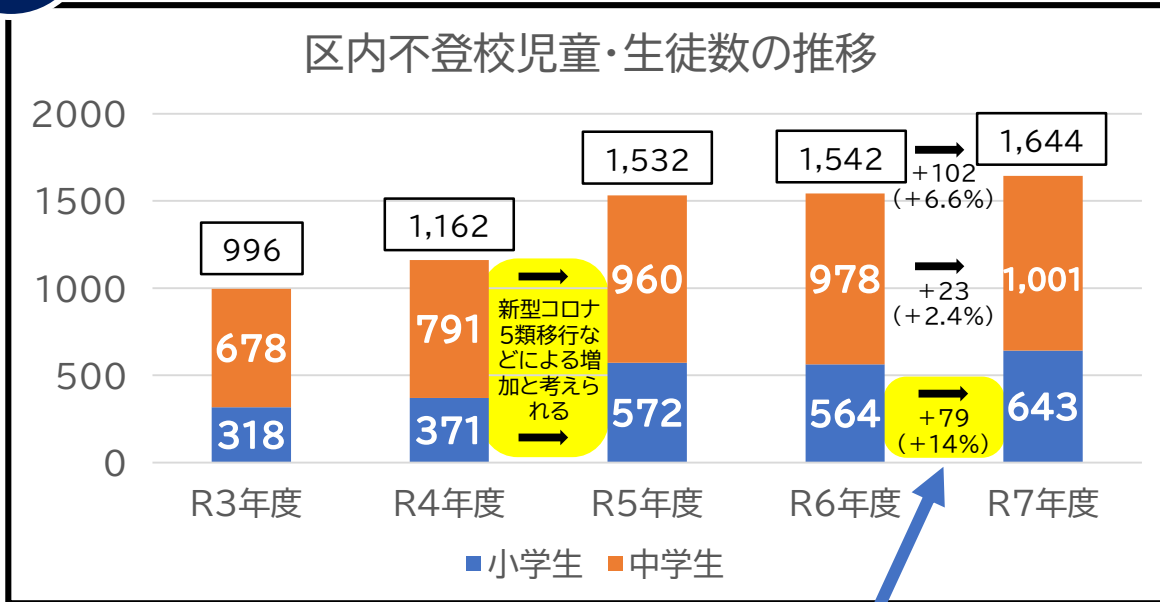
現状

これまでの不登校支援

- ① 登校サポーターによるお迎え支援・別室支援 ② チャレンジ学級
③ あすテップ ④ 家庭学習支援事業 ⑤ 居場所支援事業
※ ①を除く事業は、児童・生徒の在籍校以外での支援

しかし

不登校児童・生徒数は増加傾向



傾向①

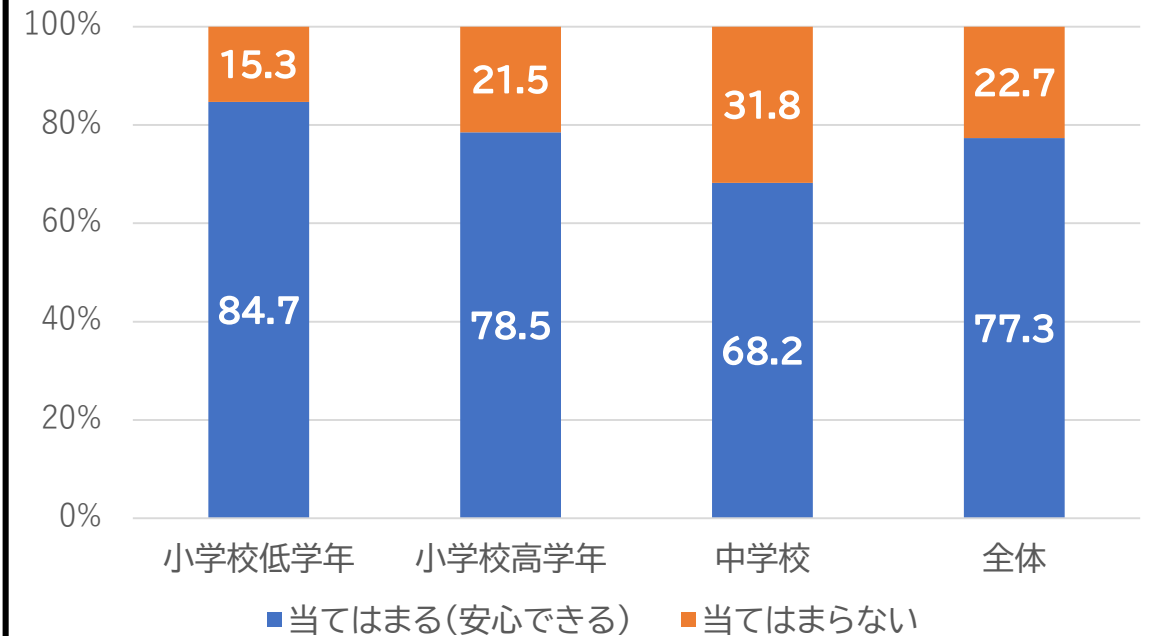
小学生の増加率が高い(不登校の低年齢化)

※ なかでも、小1: +25人、小4: +36人(R6→R7)が多い

R7.9
には

「学校生活に関するアンケート」実施(全児童・生徒対象)

あなたにとって学校は安心できる場所ですか？



傾向②

高学年になるにつれ、「学校は安心できると思う」割合が低下(学校への安心感の低下)

傾向
①②
から

低学年のうちから、子どもたち個々に寄り添った環境(居場所)があれば不登校を未然に防げる可能性がある

(仮称) 小学校版SSRを新たに設置

第4号補正
予算に計上

課題

安心して通うことができる学校作り

児童・生徒が「学級に入りづらいなあ」「ちょっと苦しいなあ」と感じた時

自分の居場所があるという安心感

- ① いつでも、すぐ行ける居場所が必要
- ② 心を落ち着かせることができる居場所が必要



Point1

校内に

教室以外の

Point2

常設の

居場所を確保

すでに中学校では

校内にSSR(スモール・ステップ・ルーム)を設置(令和5年～)

- 令和8年度時点で区立中学校25校に設置済
 - 生徒の心理的な安心の場となり、学習指導・進路選択の支援等、教室復帰への段階的な支援として有効に機能している
- ➡ 令和9年度で全区立中学校(35校)にSSR設置予定

NEW

小学校内に子どもたちの常設の居場所作り

- 対象: ① 登校できるが学級に入れない児童
② 学級に入る前や学校生活の中で、気持ちを整える必要がある児童

	現状【別室】	今 後
運営形態	登校状況に応じ、空き教室を利用(常設ではない) (全67校中52校)	登校サポーターの常駐 環境整備による常設化

今回はモデル実施として、【別室】の無い8校にSSRを設置

子どもたちが気持ちを落ち着かせるための居場所作りにかかる費用

【補正額】2,628千円



◀ 落ち着きブース

落ち着きテント ▶



※ 購入例
(AIイメージ図、子どもの状況や学校環境によって購入する物品は変わる場合あり)

※ 別室の無い残りの7校は、登校サポーターの積極的な確保・派遣により、居場所作りを推進していく

➡ 効果検証した結果等を踏まえ、
令和10年度の全区立小学校SSR設置を目指す

5

開館40周年を迎える郷土博物館

この秋、40周年を記念した企画展・イベントを開催！

開館40年の軌跡

2009年に発見され、文化遺産調査のきっかけとなった美術品！



じゅうにかげつかきずびょうぶ
村越向栄 ー十二カ月花卉図屏風ー

2012年:2011年にスタートした文化遺産調査が、
区制80周年を契機に本格化

1988年:「足立風土記」編纂事業開始
博物館活動に資する成果

2009年:常設展示のリニューアル
・メインテーマは「江戸・東京の東郊」
・子ども向けにホールの体験ブースや引き出し
型展示などを取り入れた。

START 1986年:足立区立郷土博物館を開館
急激に変化する郷土の姿を記録し、貴重な郷土資料を保存することが目的

2022年:区制90周年を彩る 特別展「琳派の花園 あだち」

2023年1月:大規模改修工事開始

2023年5月:「千住・足立の文化遺産」が「國華」で特集

2025年:リニューアルオープン
郷土資料館から「美術資料館」へ

2026年11月3日(火・祝)
開館40年

40周年



美術館仕様のエアタイトケースを導入



日本で最も権威ある美術雑誌



しきかちょうずびょうぶ
清水圭明 ー四季花鳥図屏風ー

40周年を記念した収蔵浮世絵展「新版 広重目線」

【9/19 (土) ~
11/23 (月・祝)】

歌川広重没後160年(2018年)に開催し、好評を博した展示会再び

Point
1

開館40周年を記念して、新版にアップデート！

歌川広重晩年の大作「名所江戸百景」から、広重独自の視点で描かれた浮世絵を前回より新たに4つのテーマが加わって、全9つのテーマで解説

NEW① 都合のいい目かくし



風景にかかる「かすみ」や「雲」は、伝統的な日本の表現手法。距離や高さの調整などその働きは抜群です。

いちがやはちまん

【市ヶ谷八幡(安政5<1858>年)】

NEW③ よくよく見ればありえない



細かい様子まで、よくわかりますが、正確な遠近法によらずに表現しています。

なかがわぶち

【中川口(安政4<1857>年)】

NEW② 行列をそえて



行列が描かれることによって、季節感や街並みの奥行きなど場所の特徴が引き立ちます。

おおでんまちようごふくだな

【大伝馬町こぶく店(安政5<1858>年)】

NEW④ 水のまがり道



曲がりくねった水路や川が、画面の奥行きを広げ、その先を想像させます。

たまがわぶつみののはな

【玉川堤の花(安政3<1856>年)】

Point
2

出張展示「一日だけの広重展」【9月6日(日)】

歌川広重の命日である9月6日に、歌川広重の墓所と記念碑がある「東岳寺」(足立区伊興本町1-5-16)で開催

2026 9/19 SAT ~ 11/23 MON

収蔵浮世絵展

新版 広重目線

歌川広重の様々な目線に迫る。

足立区立郷土博物館

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日にあたる場合はその翌日を休館)
入館料 一般 200円 (高校生以上)・団体 (20名以上) は半額
■ 70歳以上の方、障害者の方、学生の方は入館料が半額になります。
■ 9月7、15日(土)は無料公開日

ADACHI CITY MUSEUM 足立区立郷土博物館 TEL 03-3620-9393 FAX 03-5697-6562

40th ADACHI CITY MUSEUM 足立区立郷土博物館

足立区

Utagawa Hiroshige's Viewpoint

開館記念日（11/3）に合わせイベント多数開催！東京アプリも活用！

①生け花から見る広重の世界 【9/19(土)～9/23(水・祝)】

足立区華道茶道協会との協働による、**広重の名所江戸百景からイメージした生け花展**



②中秋の名月 【9/25(金) 17時30分～】

郷土博物館の学芸員が月を鑑賞する歴史を解説。その後、実際に**月見を楽しむ**

③Sax, Piano & BassのJAZZ 【10/18(日)】

映画「名探偵コナン」のテーマ曲の演奏でも知られるサクソ奏者・本間将人氏、多才なキーボーディスト半田彬倫氏、実力派ベーシスト笹井BJ克彦氏による**JAZZ演奏**



④東京藝術大学 弦楽四重奏コンサート 【10/25(日)】

東京藝術大学卒業生を中心に結成されたーアンサンブル東風 Ensemble KOCHIーによる**弦楽四重奏の名曲コンサート**。今回は、**特別に足立をテーマにした作品も披露**



⑤郷土芸能鑑賞会ほか 【11/3(火・祝)】

綾瀬神社江戸祭囃子保存会と保木間箕濃が谷囃子保存会による**お囃子演奏**
そのほかにお茶会、クイズラリー、革や木材のチャームづくりも企画



9月
から

東京都公式アプリを活用したモデル事業を展開！

9月1日から、東京ポイントを郷土博物館の入館チケットに交換可能に！

令和8年度中から**東京ポイントを付与する事業一部先行実施！**

活用① 東京ポイントで若者の区政参画を促進！

【11月～】若者居場所利用促進プロジェクト 1,000pt×10人(予定)

- 若者(高校生世代)と関連部署の協働によるプロジェクトチームを立ち上げ、**利用者目線のアイデア**を区施設の事業運営に反映
- 全4回全てに参加した若者にポイントを付与

【11月～】アダチ若者会議 500pt×50人(予定)

- **区が抱える課題について若者から直接意見を聴き**、出されたアイデアを今後の施策へ反映
- 参加者にポイントを付与

活用② アンケート協力でポイント付与！調査で事業をアップデート

【11月】避難所運営訓練従事者アンケート調査 500pt×560人(予定)

- **避難所運営に関わる課題を抽出**するため、アンケート調査を実施
- 協力者へポイントを付与

【12月】転出入者アンケート調査 3,000pt×30人(予定)

- 転出入者アンケート回答者の一部を対象に、**「足立区を選んだ理由」を詳しく聞き取るインタビュー調査**を実施
- インタビュー協力者にポイントを付与

6

都内初！

**本などの査定金額を寄附し、支援するサービス「キモチと。」
に関する協定を、ブックオフと締結**

9月1日（火曜日）からサービスの受付開始

“足立成和信用金庫の提案”により実現した子どもへの支援！

1

足立成和信用金庫では、これまで「こどものみらい古本募金」を通じて、国の「こどもの未来応援基金」に各支店で回収した本を寄附していた

➡ より地元に貢献するため、包括連携先である足立区に寄附をしたい

足立成和信用金庫とブックオフが足立区に「キモチと。」サービスを提案

2

ブックオフコーポレーション(株)と足立区は令和8年9月1日に

「キモチと。」サービスに関する協定を締結。自治体としての締結は都内初！



寄附の流れ



直接ブックオフの宅配買取寄付サービス「キモチと。」
(送料無料)を利用して、お送りいただくことも可能



powered by **BOOK・OFF**

対象品目

書籍・コミック

音楽・映像・ゲーム

フィギュア・トレカ・ホビー

ブランド

ファッション

家電・デジタル

楽器・音楽機器

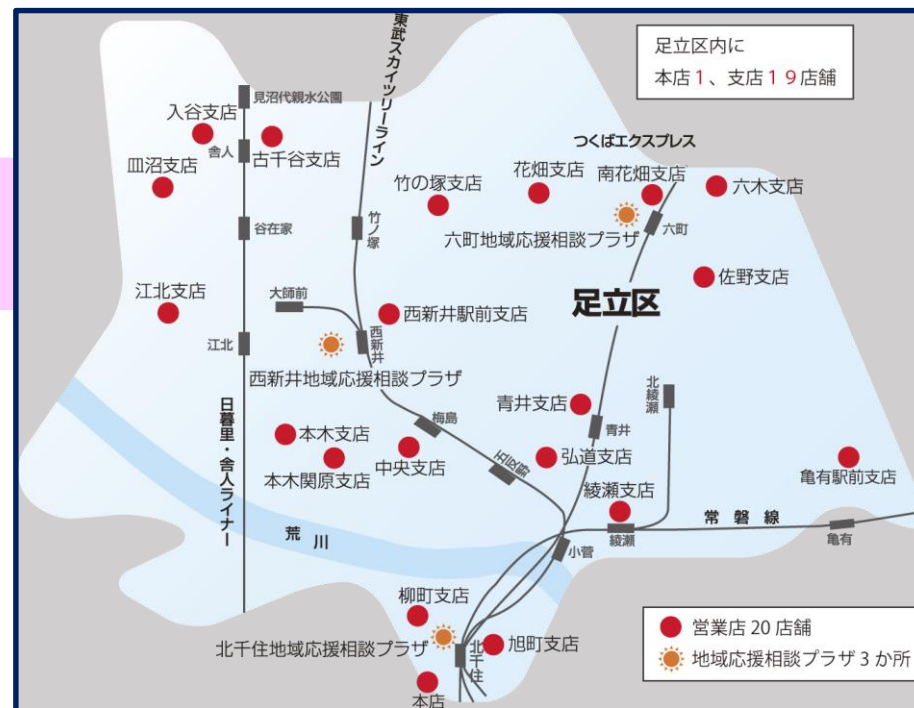
アウトドア用品

回収BOXの対象品目



地域応援！“おせっかい宣言”

足立成和信用金庫



ブックオフコーポレーション(株) 執行役員 **渋谷 順一 様**

足立成和信用金庫 地域創生広報担当課長 **池宮 祐介 様**

にご紹介いただきます！



ADACHI CITY